（2）学校経営の充実

学校経営管理研修会の開催

市内小中学校園所の管理職やミドルリーダーである教員を対象に、学校経営が直面している課題に対して、**的確かつ組織的な学校経営**ができる力を身に付け、各校園所での具体的な実践につなげていくことをねらいとして、研修を行っています。

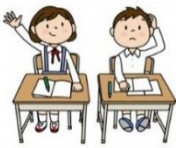
コミュニティ・スクールくさつの推進

学校、保護者、地域住民の組織的かつ継続的な連携と協働体制を確立し、学校運営の充実を図るため、全小中学校でコミュニティ・スクール（※）を実施します。各校ごとに**学校運営協議会**を設け、教職員、保護者、地域住民等がその委員となり、学校運営やそのために必要な支援に関して協議を行い、特色ある学校づくりを地域と学校が連携・協力して、実現させる役割を担います。

コミュニティ・スクールくさつを、より一層発展させていくために、学校運営協議会委員を対象にした研修会を計画的に実施します。

※コミュニティ・スクール：学校運営協議会制度を導入した学校のことを言います。

「学校教育パイオニアスクールくさつ」の推進



市内全ての小中学校において、新学習指導要領実施の趣旨を生かした学校改善をテーマとして、教育プロジェクトを企画・実施し、**各学校の強みを活かした教育や魅力ある学校づくり**を行っています。

そのひとつとして、各界の第一線で活躍する専門家や達人を招き**「夢・未来を抱くスペシャル授業 in 草津」**を実施しています。スペシャル授業をとおして、子どもの学習意欲を高めるとともに、将来に向けての夢や希望を育みます。

“チーム学校”による支援体制の構築

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、弁護士、学校司書など、多様な**専門性を備えたスタッフを含めたチーム体制**を築き、学校組織力を高めます。

また、スタッフとして「地域コーディネーター」を配置することにより、学校と地域の住民やボランティアの方々がつながった“地域とともにある学校”づくりを一層推進します。

市費教員や支援員による指導体制の充実

市費教員（小学校少人数学級編制教員・小学校授業充実加配教員・中学校生徒指導主事加配教員・小中連携加配教員）や教室アシスタント、学校ＩＣＴ支援員等の支援員、家庭学習サポーター、部活動指導員、学生ボランティアの配置を進めることにより、**子どもにきめ細かく対応**できるように、指導体制を整えています。

学校問題サポートチーム会議の開催

学校だけでは対応や判断が難しい問題に対して、**弁護士や社会福祉士からの助言**を受けて、対応を協議する学校問題サポートチーム会議を開催しています。

適応指導教室「やまびこ」の運営

不登校や集団に適応できない状態にある子どもを対象に、保護者・学校・関係機関と連携を密に取りながら、**一人ひとりの状況に応じた教育的活動**を展開する中で、学校復帰の活力を高める関わりを進めています。

スクールソーシャルワーカーの活用

不登校やいじめ等の課題に対応するため、**教育と福祉の分野において専門的な知識**を持つスクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）が、児童生徒やその家庭・関係機関等へ働きかけ、支援しています。

翻訳・通訳による支援

日本語指導が必要な子どもと保護者に対して、懇談会や家庭訪問等での通訳や、重要な書類の翻訳により支援することで、**学校生活を安心して送ることができるようにサポート**を行っています。

（3）教育環境の充実

ＩＣＴ環境の整備（ハード面）

平成２６年度からタブレットＰＣを３学級に１セットの割合で導入し、全国に先駆けてＩＣＴ教育を推進してきました。Ｓｏｃｉｅｔｙ５．０という新たな時代を担う人材の育成に取り組むうえで、子どもたち誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びの実現に向けて、教師を支援するツールとしてのＩＣＴ環境や先端技術の整備を積極的に進めていきます。

○令和５年度までに**子ども１人１台の学者用端末**配備

令和２年度）小５・小６・中１　令和３年度）中２・中３　令和４年度）小３・小４　令和５年度）小１・小２

○**高速大容量のネットワーク環境（校内ＬＡＮおよび教育ネットワーク）**の整備

○**普通教室の液晶型電子黒板の配備率１００％**

○**デジタル教科書・教材等**を効果的に活用できる環境の整備

ＩＣＴ環境の整備（ソフト面）

自分の考えを発表したり話し合ったりする授業を行うため、子どもの意見や考えを一斉に表示したり、比較して表示したり、分類して表示したりすることができる**協働学習用ソフト**を導入しています。ドリル学習コンテンツもあり、家庭学習を含め、さまざまな学習に活用できます。

また、名簿管理や通知表、指導要録、出席簿の作成、高等学校入試関連書類の出力等を行う**校務支援システム**を導入し、教職員の事務作業の効率化を図っています。システム導入により削減できた時間を、子どもと向き合う時間や授業の準備、教材研究などにあてることで、教育の質の向上を図ります。

校務支援システム　トップ画面

ドリル学習コンテンツ

快適な学校施設

照明、給排水等の付帯設備や内装、外装の老朽化が著しい状態であり、建物の状況を踏まえながら計画的に**大規模改造事業**を実施しています。

トイレについても順次、内装改修と共に洋式化を進め、快適なトイレ環境を整えています。

地震に強い学校施設

地震による落下物や転倒物から子どもたちを守るため、天井、照明器具、外壁、窓ガラス、家具等の**非構造部材の耐震対策**を進めています。

学校図書館の環境整備

学校は、子どもが生涯にわたって読書に親しむ習慣を身に付けさせる上で大きな役割を担っています。そのための取り組みとして**書架等必要備品の整備、学校図書館資料の適切な選書、レイアウトの工夫等**を行い、学校図書館の環境を整えています。